

国土計画体系の見直しにおける広域ブロック計画制度の改革

背景

人・物の流動が広域化



広域的な取組の必要性が増大
観光、国際交流、生態系の保全、防災等

広域ブロック重視の取組へ

広域ブロック計画制度の改革

地域中心の広域ブロック計画づくり

計画策定への地方公共団体等の主体的な参画の確保
(関係地方公共団体を中心とした地域の各主体が参加・協議して原案を作成、
その上で国が計画決定する仕組み。)

広域ブロックの役割を重視

全国計画との役割分担の明確化
(全国計画ではブロック別整備について詳述は行わない。)

計画圏域の再検討

見直しの観点

歴史的・文化的背景や経済的・社会的一体性
地域住民等の生活・経済圏域等と適合
国と各都府県が行う施策・事業の連携・調整

一つの計画圏域の全体が他の
計画圏域の一部として完
全に包含されているような重
複関係について問題提起

地域が主役の広域ブロック計画